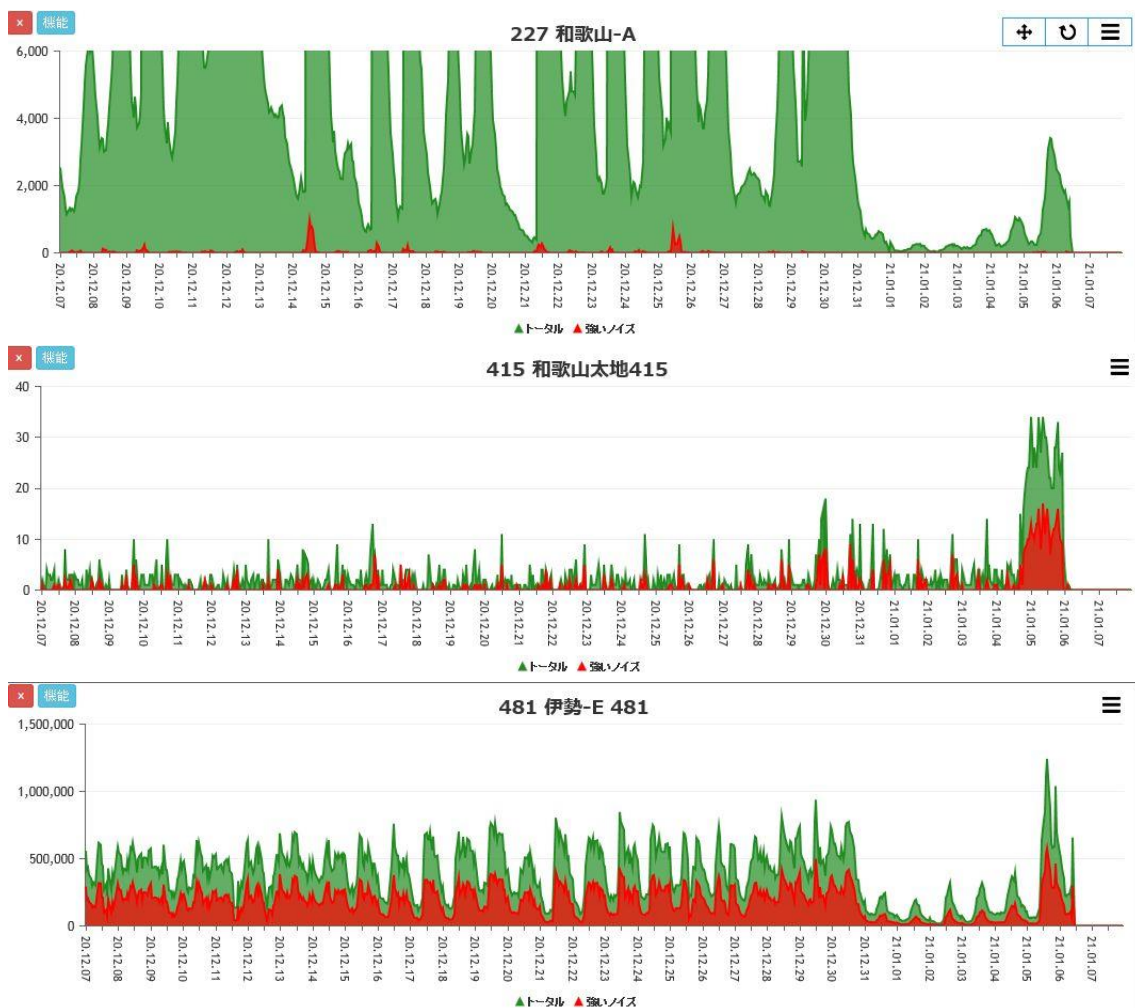


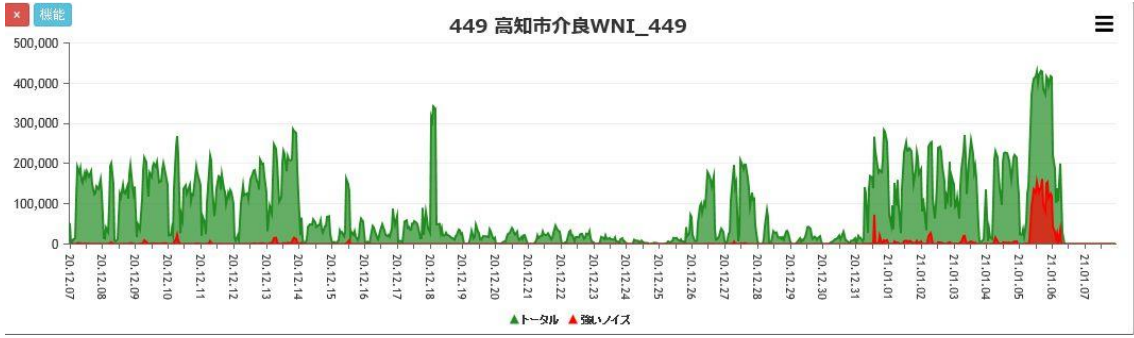
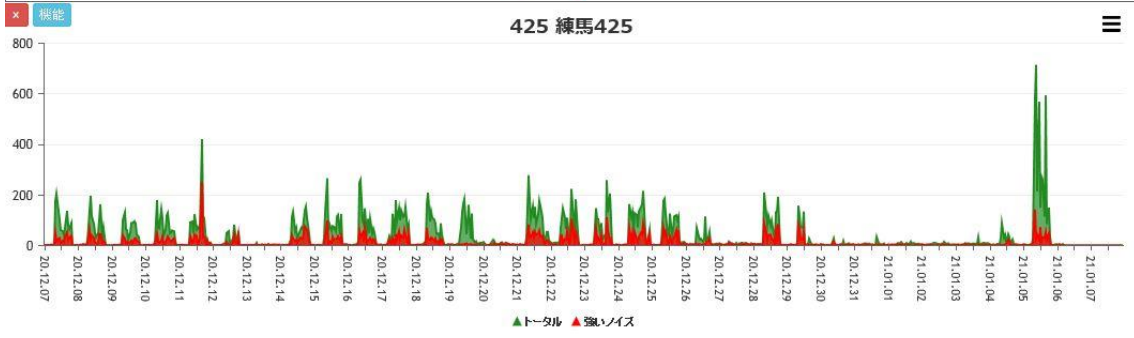
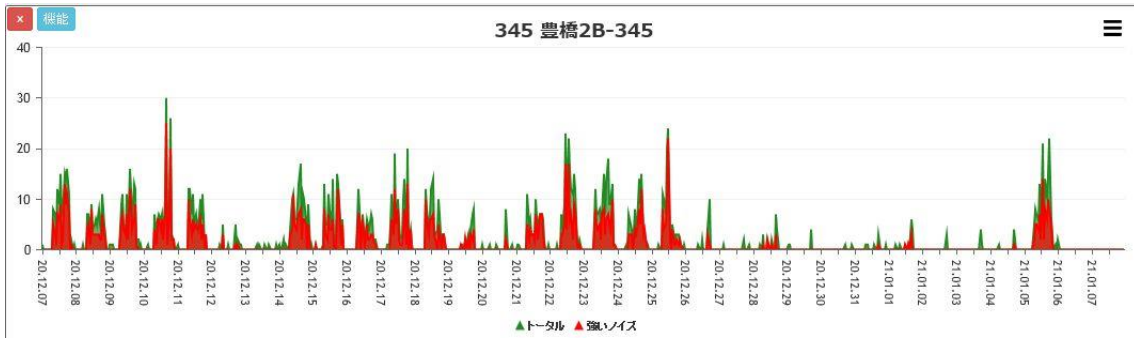
210106 和歌山—A 高知市介良 幅のある 1 本立ちについて

年末年始の休み中に収束してくると思われた和歌山—A と高知市介良の長期データですがそのほかの周辺のデータと一緒にリバウンドしてきており、さらに昨日から広範囲に同期した幅のある 1 本立ちのようなデータが出ました。

各地の 30 日間データでは 以下のように 和歌山—A、和歌山大地、伊勢 E、豊橋 345、東京都練馬、高知市介良、高知五台山、熊本宇城までが同期しており、大変広範囲です。またこれらのデータと同期してはいませんが 大分県府の大きな塊状のデータが急に減衰し収束してきています。こうした広範囲の同期している主な大きいデータは 中央構造線に沿っているようにも見られます。そしてこのような広範囲のデータの中心の位置は やはり紀伊水道、三重県沖あたりになります。これらの幅のある 1 本立ち出現の後、データの変化がどうなるか、わかりませんが やはりもうしばらくは近畿地区での M6 超—M7 クラスの地震を注意するべきと考えます。

なお、これらのデータとは別と思われませんが 世田谷、センター（世田谷 02）、五反田、三重志摩のデータも急な収束してきており、参考に以下に載せます。こちらもちょう注意が必要です。

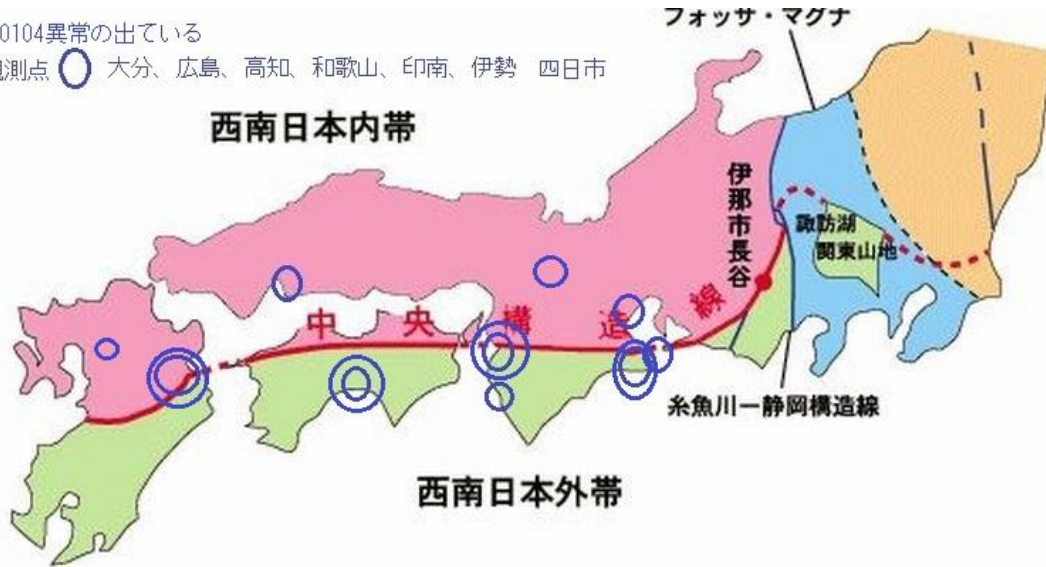




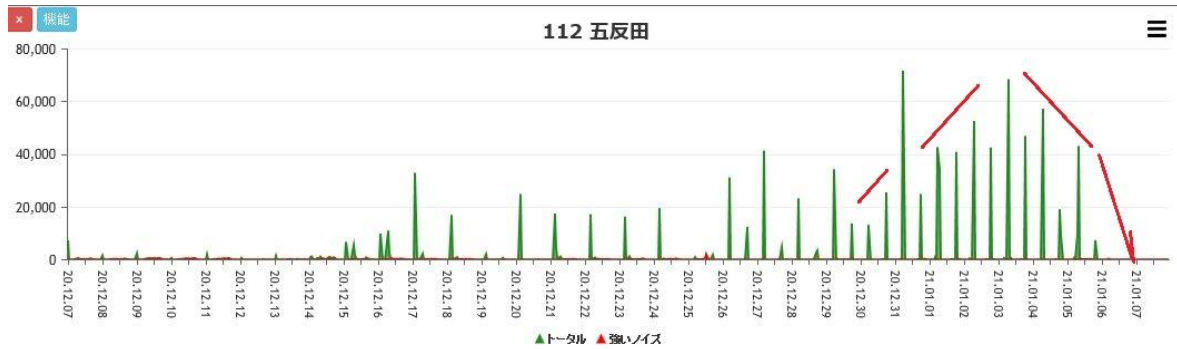
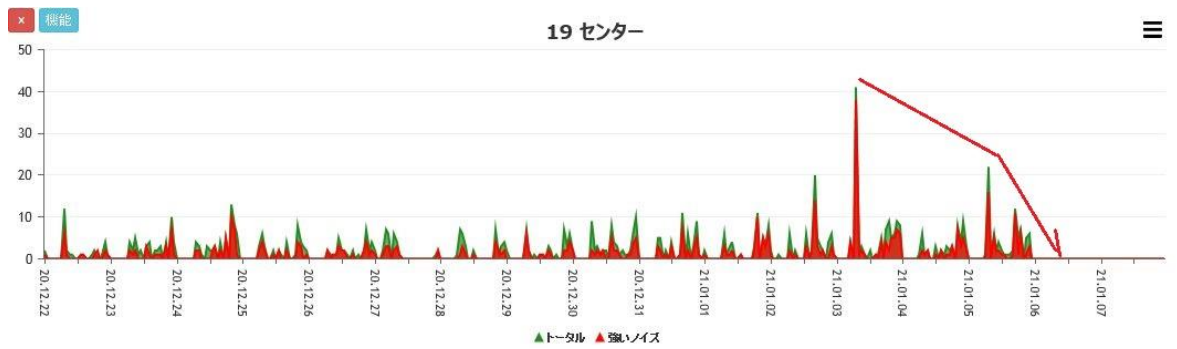
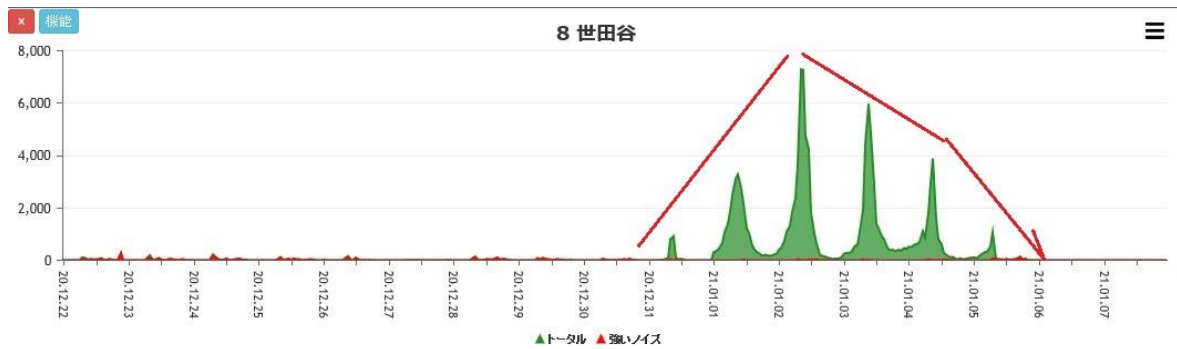
位置関係>

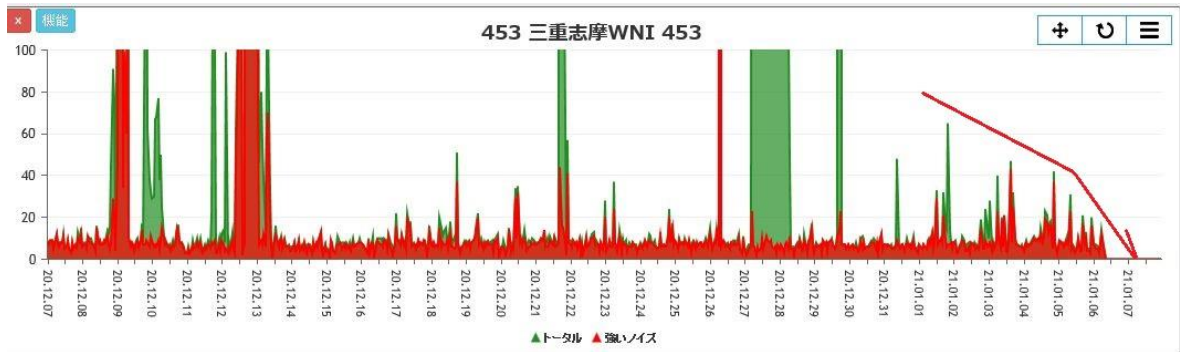
210104異常の出ている

観測点  大分、広島、高知、和歌山、伊勢、四日市



その他> 世田谷、センター（世田谷 02）五反田、三重志摩の収束状況





大分県 60 日、30 日間データ

